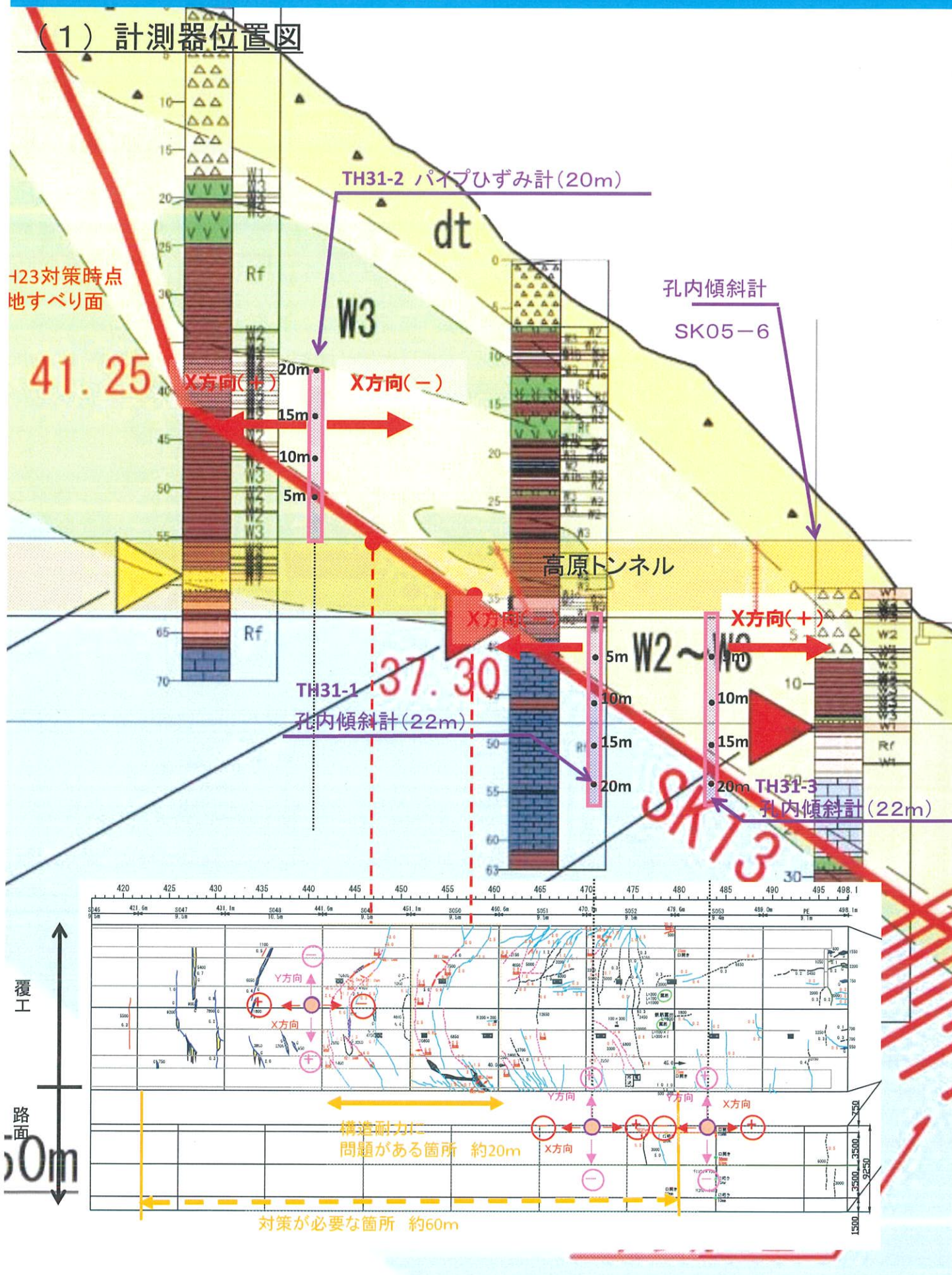


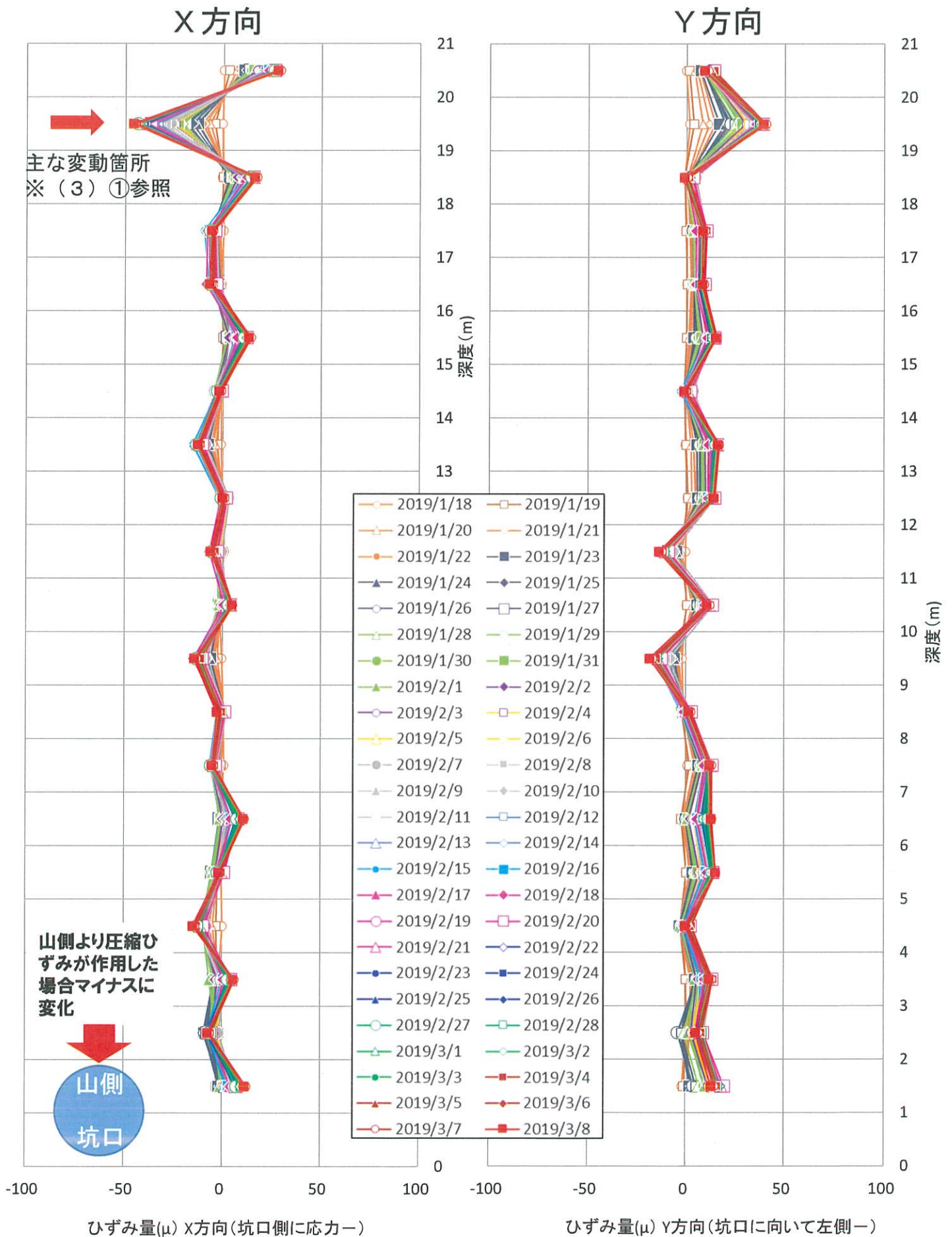
1-2 周辺地盤の調査

(1) 計測器位置図



1-2 周辺地盤の調査

(2) 各箇所の変動状況 ①パイプひずみ計 TH31-2

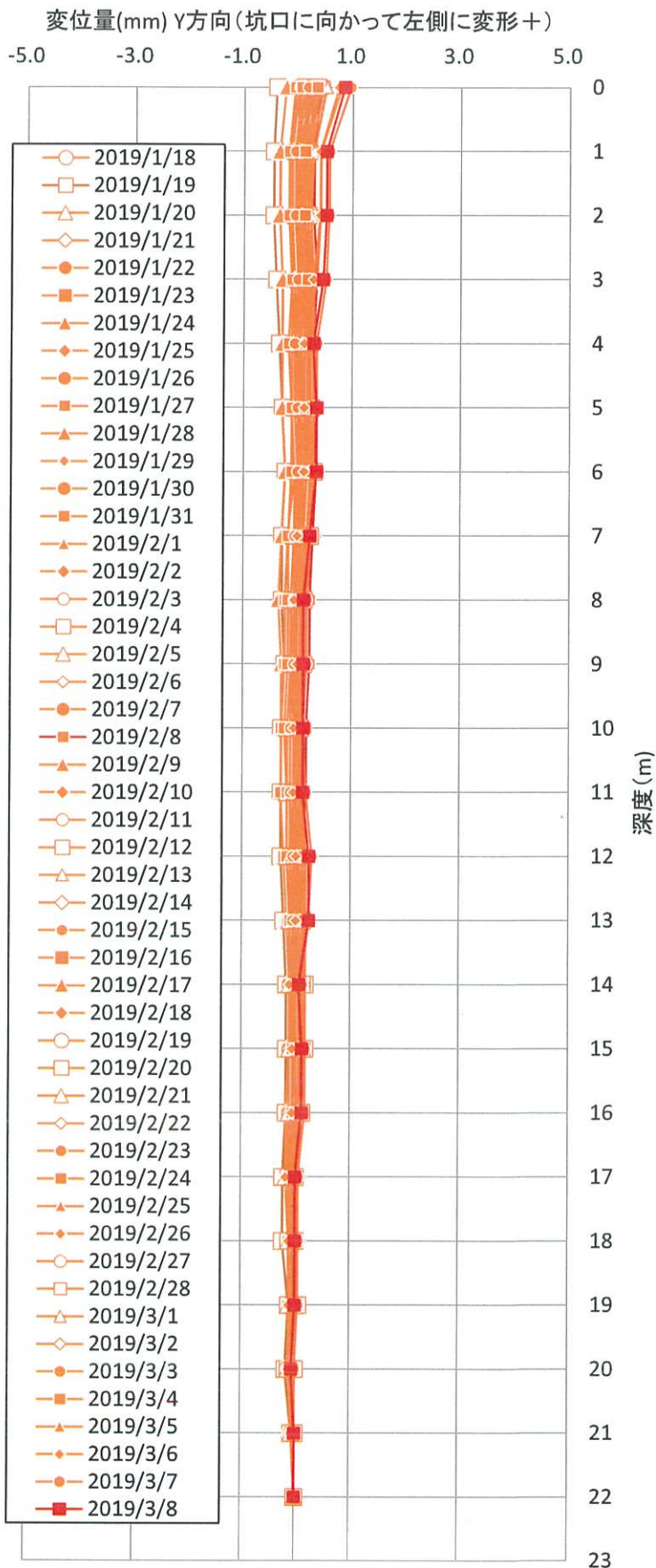
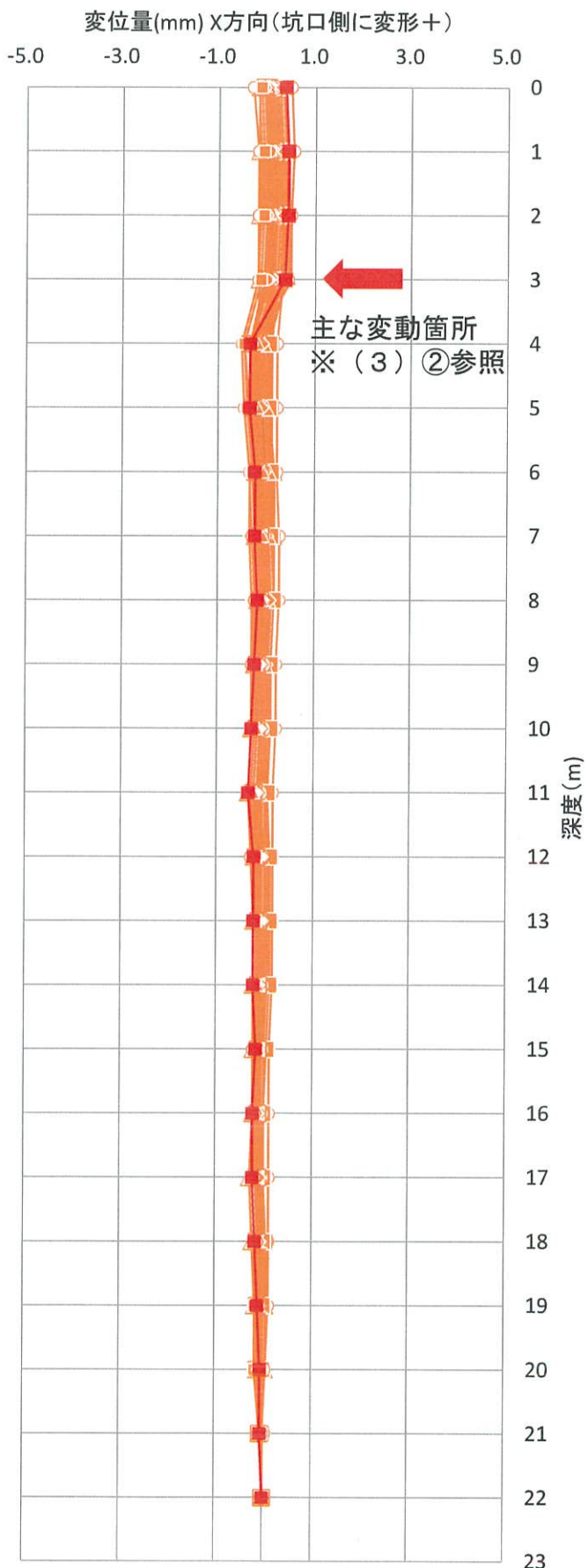


1-2 周辺地盤の調査

(2) 各箇所の変動状況 ②孔内傾斜計 TH31-1

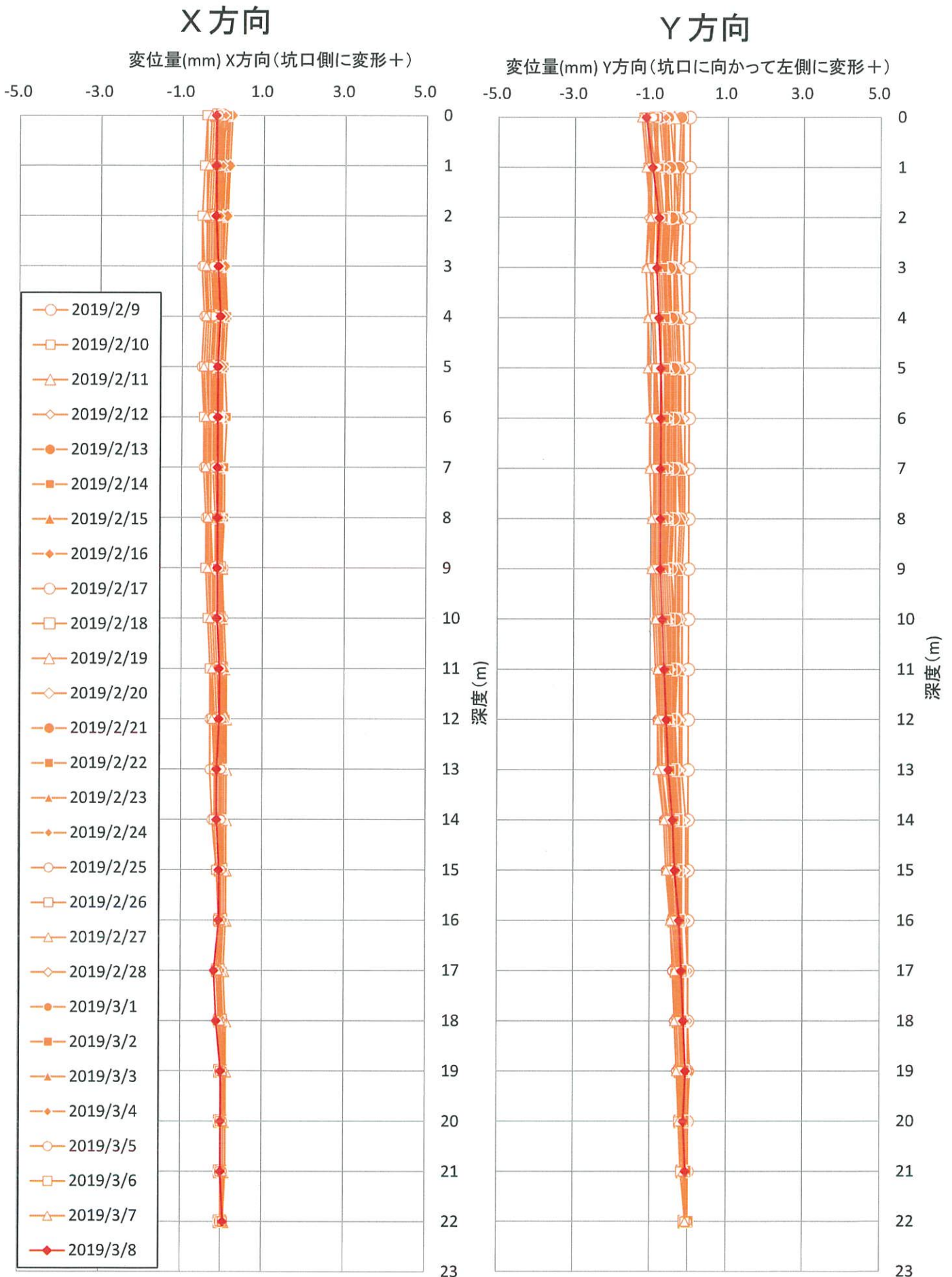
X方向

Y方向



1-2 周辺地盤の調査

(2) 各箇所の変動状況 ③孔内傾斜計 TH31-3



1-2 周辺地盤の調査

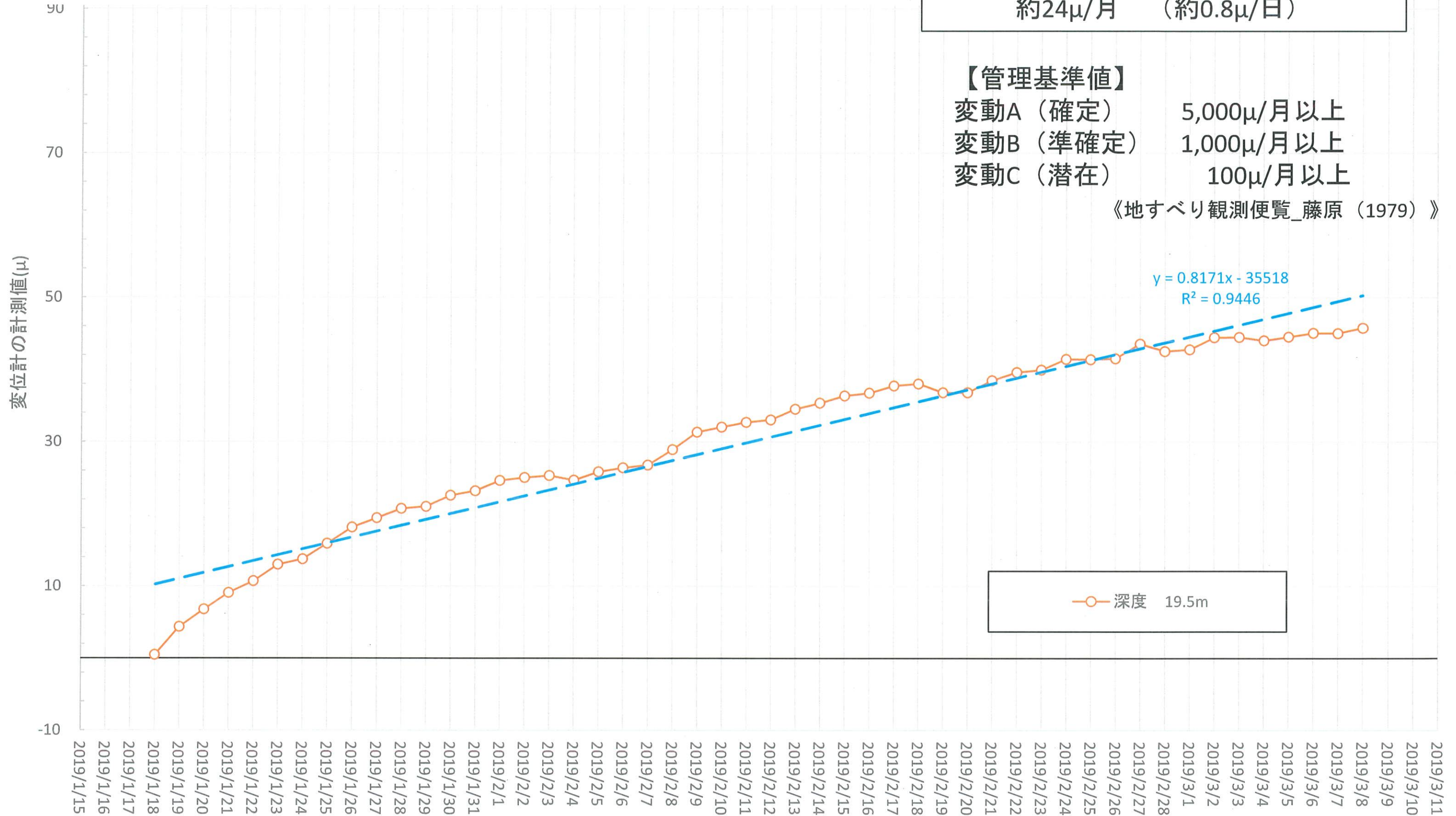
(3) 主な変動箇所

① パイプ歪み計TH31-2(L=19.5m X方向)

【現在のデータより算出した変位量】
約24μ/月 (約0.8μ/日)

【管理基準値】
 変動A (確定) 5,000μ/月以上
 変動B (準確定) 1,000μ/月以上
 変動C (潜在) 100μ/月以上

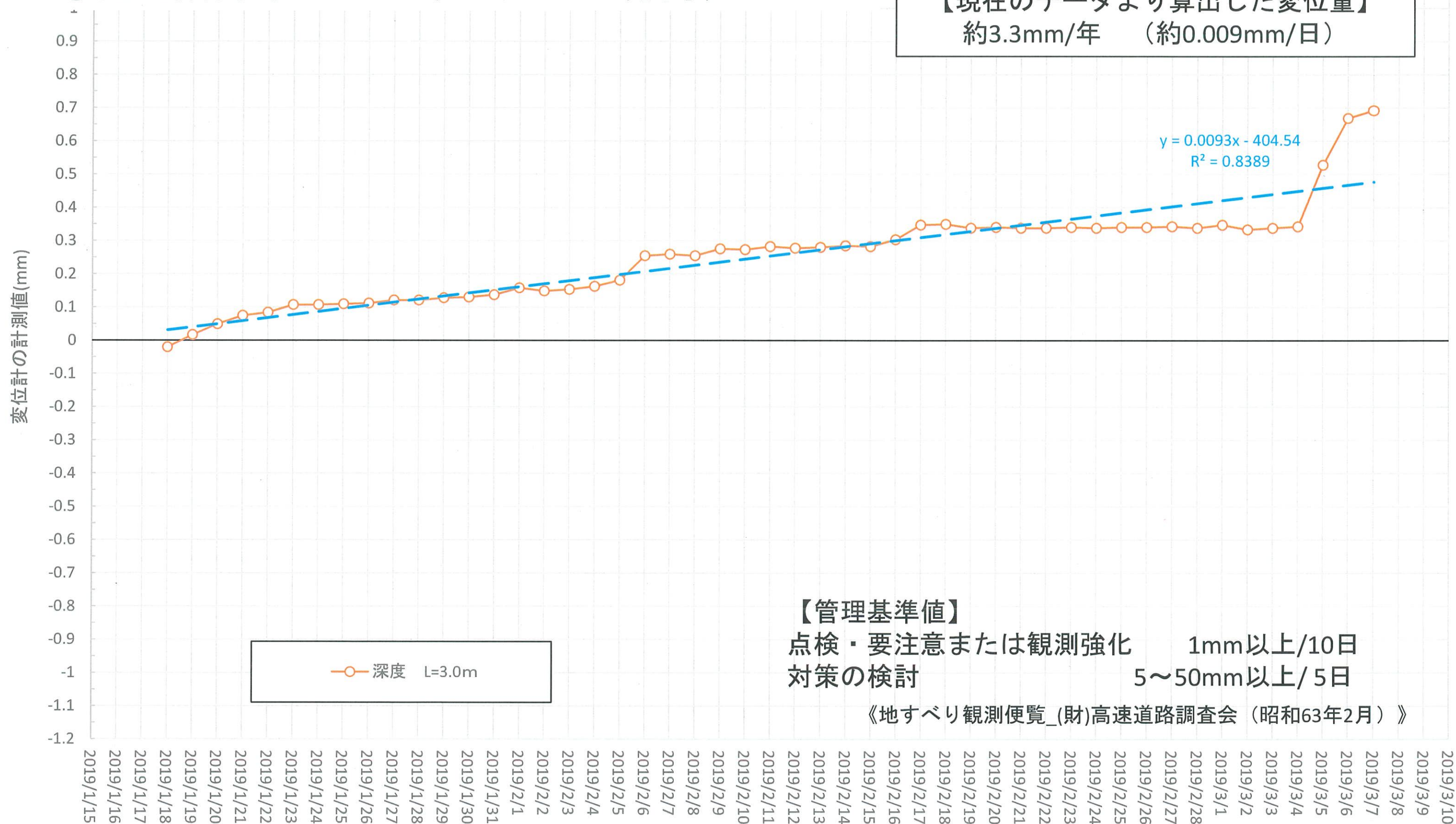
《地すべり観測便覧_藤原(1979)》



1-2 周辺地盤の調査

(3) 主な変動箇所

② 孔内傾斜計TH31-1(L=3.0m X方向)



1-2 周辺地盤の調査

(4) 孔内傾斜計SK05-6 (L=14.5m-15.5mの合成変位量)

【現在のデータより算出した変位量】
約3.0mm/年 (約0.0083mm/日)

国の計測機器は主側線(No.3'側線)方向をX方向、主側線と直角方向をY方向としており、県の計測と異なることから、合成変位量を算出

